

いのちと暮らしを守る 災害に強いまちづくりを

災害予想箇所への建築の規制を 避難所の増設を

阪神大震災以来「自助・共助・公助」ということが強く言われるようになりましたが、市民の命を守る自治体を「公助」と補助的な支援者に位置つける考え方は、地方自治法の基本にも反するものです。

「地盤画」の防災を中心に、いくつかの提案をしました。

- 市の防災計画の想定を、マグニチュード8・27から9（東日本相当）に変更すること。
- 最近、農業振興地域や風致地区

など、本来開発を抑制すべきところに市が宅地開発を認めています。液状化マップの危険度がきわめて高い地域、急傾斜地、土砂災害危険地域や浸水実績地域などに住宅を建てる場合、市が安全確保の基準をつくり、指導や規制など行うこと。

- 液状化の危険度が高い矢作、六ツ美地域での防災マップ作成を促進し、その際住民参加方式で行うこと。
- 造成地での液状化被害を防ぐため、現在の500㎡メッシュの液状化危険度マップを横浜市の上

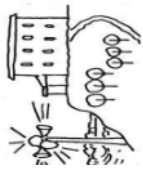


市議会議員 鈴木まさ子

太陽光発電補助上限額	42万円	28万円	24万円	24万円	20万円	16万円	16万円	8万円	6万円
安城	安城	碧南	刈谷	豊橋	高浜	知立	幸田	西尾	岡崎

消防職員の増員 同報無線の設置を

- 岡崎市の消防職員は74％全国消防職員数の平均は国の基準の75・9％で岡崎市は全国平均以下です。現在384名で国の基準にはあと129名足りません。「消防自動車の出動に5人体制がとれず3人出動もあるのでは」との質問に消防長は「消防力は決して低くない・災害に万全を尽くす。一隊4人での出動を認めている」と答弁していますが、市民の安全を守るためにも増員すべきです。
- 幸田町との消防の広域化(合併)は、市民の安全や財産を守るためにも進めるべきではありません。市長は「広域化には反対する」と答弁しました。



市議会議員 きたまた昭子

等の災害に情報を提供するため全市に同報無線を整備しています。岡崎市も音声が発せる同報無線の整備をすべきです

「市内を半径300m間隔で同報無線を整備すると16億円かかり、現在計画はない」との答弁ですが、不可能な金額ではありません。

- 災害時要援護者支援の具体的な取り組みを

日本共産党市議団の要望で、平成19年度から名簿が作成されてきました。

現在7236人が登録し、名簿は学区福祉委員会や総代会な

■音声の流せる同報無線整備を

3年前の豪雨の教訓から伊賀川などに設置されたサイレンは、音声がついていません。

豊田市・知立市・西尾市・幸田町などでは、地震

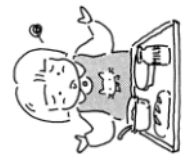
学校給食の安全 アレルギー食の拡大を

食物アレルギーをもつ小学生は約1600名です。

アレルギーは107種に及びますが岡崎市は、北部給食センター除去室で卵を除去、4センターで牛乳をのぞく除去食が行われているのみです。

知立市は7種類(エビ蟹など甲殻類)を除去しています。岡崎でも品目を増やすべきです。

また、先割れスプーンを、箸にすべきです。



うに100㎡メッシュのマップを作成すること。

- 岡崎市の(地震)避難所は69箇所。豊橋の160箇所比べて少ない。保育園や幼稚園、県立高校、町内の公民館なども避難所に指定し、物資や給水などが数多くの場所でできるようにすること。
- 下水道、水道、電気、通信、ガスなど、ライフラインの耐震化率を促進すること。(水道は耐震化率54%、下水は20%)

エネルギーの地産地消 太陽光発電補助の増額を

- 岡崎市の太陽光発電補助は1kwあたり2万円、上限3kwで西三河では最低金額。せめて安城市のように上限42万円にすべきです。
- 額田地域などの豊かな森林、間伐材を利用して、木質チップによる火力発電で、エネルギーの地産地消を進めること。

土日操業に伴う休日保育 「保護者負担なしに」

自動車関連企業は、「節電」を名目に7～9月は・金曜日を休み、土・日に操業することを決めました。

日本共産党は、一般質問で「土日操業により、土日保育を実施する際、新たな保育料を徴収すべきでない。給食は各園でつくり、保育士の人件費も保護者や市の負担とせず企業・国に要求すべき」といたしました。

6月24日 岡崎・豊田市議団は、日本共産党国会議員とともに、厚生労働省に国の補助と企業の負担を求め、交渉しました。土日保育によって、子ども会や学区運動会などの地域活動が人手不足で中止になるといった影響が出ている。

結果として保育料の保護者負担はなくなりましたが、市の負担は1600万円となります。本来企業が負担すべきです。



前列右：鈴木まさ子岡崎市議、後列左：もとむら伸子県常任委員

浜岡原子力発電所の永久停止を求める意見書

日本共産党岡崎市議団が提出

浜岡原子力発電所の永久停止とともに、自然再生可能エネルギーへの転換を国に求める意見書を議会運営委員会に提出。各会派は「電力が不足する」などの理由で意見書の提出に賛同しませんでした。

また、同会派の陳情（愛労連）も否決。知立市議会では、賛成多数で同陳情が採択されました。

日本共産党市議会ニュース 発行：日本共産党岡崎市議団
2011年6月議会 38号 Tel/Fax 23-6397
http://okazaki.jpweb.net/

ご意見をお寄せ下さい



図書館・りぶら 駐車場料金 無料時間を

2時間に短縮しないように

りぶらが中心市街地に計画された時点で、党市議団は、「300台の駐車場は不足する」と指摘をしてきました。市当局は、「近隣の民間駐車場を利用できるから不足しない」と説明してきました。3月議会で今年10月から現在の3時間無料を2時間に短縮する議案が、賛成多数で可決（日本共産党市議団は反対）されました。

図書館は文化の拠点です。西三河では駅に近い豊田市のみ有料ですが、3時間までは無料です。岡崎市は、もとの3時間に戻すべきです。

請願に対する会派の意見と賛否

りぶら駐車場無料時間を2時間にしないよう求める請願	小中学校の全教室に扇風機の設置を求める請願
上記記事に記載	上記記事に記載
今回の時間短縮は、おおむね理解。限られた駐車スペースを多くの駐車場利用者で分かち合うことは必要。受益者負担の適正化や駐車場の適正利用の観点からやむを得ない。	趣旨は理解するが、お金に限度がある。学校と子ども、保護者が創意工夫して夏を乗り切る努力が重要。将来的にも全教室への設置を考えている。賛成には及ばない。
サービスの低下につながるような状況がもし発生した場合に、瞬時の対応をお願いし請願に反対。	趣旨は大いに理解できるが賛成しかねる。
○	○
×	×
×	×
×	×
×	×

請願

小中学校の全教室に扇風機（天井）の設置を！

市は、3年間で最上階のみ設置計画を発表。残りの普通教室への設置費用は1億5000万円

近年の夏の暑さは格別です。教室の温度は昨年9月には約40度となりました。この間、日本共産党市議団は、子どもたちの健康管理からも教室の温度を測定し、早急に天井扇を設置すべきと要求してきました。岡崎市は、天井に4台の扇風機を23～25年度の3カ年で校舎の最上階の普通教室に設置する計画です。残り、小学校500教室・中学校250教室の合計750教室で、約1億5千万程度で設置できます。6月議会には新日本婦

人の会から同趣旨の請願が提出されましたが、日本共産党市議団のみ請願に賛成をし、他会派は下記の通り、扇風機設置を求める請願を否決しました。日本多邸の復元や悠紀の里の建設に各5億円、ジェットコースター付きの子ども科学館建設も計画されていますが、まずは子どもの安全や健康が優先です。すでに、PTA等の寄付により設置している学校もありますが、本来は公費で設置すべきです。